



浜松営業所 業務主任

## 池本 博彰

池本博彰さんは、2022年10月に浜松営業所の業務主任に就任しました。運送担当から管理者へ。新たなステージで活躍している池本さんは、今どのような思いで仕事に向き合っているのでしょうか。印象深い経験や今後の展望についてもお話を聞きました。

—— **入社の経緯を教えてください。**

前職では、職人として建設業に携わっていたのですが、首のヘルニアを発症し、仕事を続けられなくなっていました。その後療養期間を経て、職を探していたときに見つけたのが、南星キャリアックス株式会社の募集要項です。「4トントラックでの中距離や長距離配送」という珍しい内容に興味を抱き、会社に連絡。体は本調子ではなかったため、今の自分に無理のない業務かどうか、一度見学をさせてもらった上で、面接を

受けました。

—— **思いに残っている仕事についてお聞かせください。**

私は南星キャリアックスに入ってから大型免許を取得したのですが、そのきっかけになった仕事がとても思い出深く、それは2社間の定期長距離輸送の依頼でした。新規事業とあって、その仕事の今後は自分の働きにかかっていたため、「しっかり責任を持ってやらなければ」と心に決め、工夫を重ねました。中でも難しかったのは時間配分です。集荷に赴き、会社間を移動するまでに1日の運転時間上限がいつぱいになってしまったため、確実に降ろし先の近くで休息できるような調整。効率の良い積み方や、時間帯を意識した移動ルートの設定など、試行錯誤を重ねたものです。その後信頼のできる後

進に業務を引き継ぐまでの1年間は、特に力を入れて取り組みました。

—— **業務主任になってからの仕事へのこだわりを教えてください。**

業務主任として、構内業務に携わる従業員の勤務管理を行うのが役割ですが、私はこれまで運送担当。構内業務を知らない身であり、現在は主に現場に入り、サポートをしながら仕事を覚えているところ



ろです。管理する現場の作業内容を知らなければ、明確な指示は出せません。現場作業を網羅し、各員へアドバイスや軌道修正ができてこそ、管理者として仕事ができるというえます。そこで、基本をしつかり頭に入れてから、積極的に管理するステップに進みたいと考えています。

—— **工夫している点や大事にしている点がありますか。**

何よりも効率です。無駄な動作や効率の悪い手順は、関わる人の時間も体力も奪ってしまいます。仕事にかける時間を減らすことは、決して怠慢ではなく、時間や体力の余裕は、心の余裕につながり、他に視点を移し、より良いフローを考えることもできます。無駄なく確実に前へ進んでいける状態をつくれるよう、日々努力しているところです。

また、私はもともと口調が荒

く、言葉づかいは特に気をつける必要があります。どのようなアドバイスも、伝え方が悪ければ受け入れてもらえず、ゆっくり相手の話を聞いて、つまづいている部分を見つけ出し、そこに手を貸す。そんな流れを意識し、落ち着いて指示を出していく姿が理想です。

—— **最後に、今後の展望をお聞かせください。**

人員不足もあり、事務所全体で余裕のない状態が続いています。そんな現状を少しでも改善させ、効率向上を目指していきたいです。とはいえ、私自身まだ知識不足。どうしても作業者目線で考えてしまいます。周りをよく見るためには、自分自身がステップアップするしかなく、経営者目線の考え方もこれから学ばなければなりません。そこでまずは現場の仕事覚え、多くの人と会話を交

後進には、「努力している姿勢はきちんと見ているから、安全を第一に考え、無茶だけはないようにしてほしい」と語る池本さん。熱い思いと優しい心で奮闘するその姿から、ますます目が離せません。